

質問事項：平成25年度の総排出量増加の要因について

平成25年度の1人1日当たりの生活系一般廃棄物と事業系一般廃棄物の総量が増加している要因を検証しました。

※総排出量

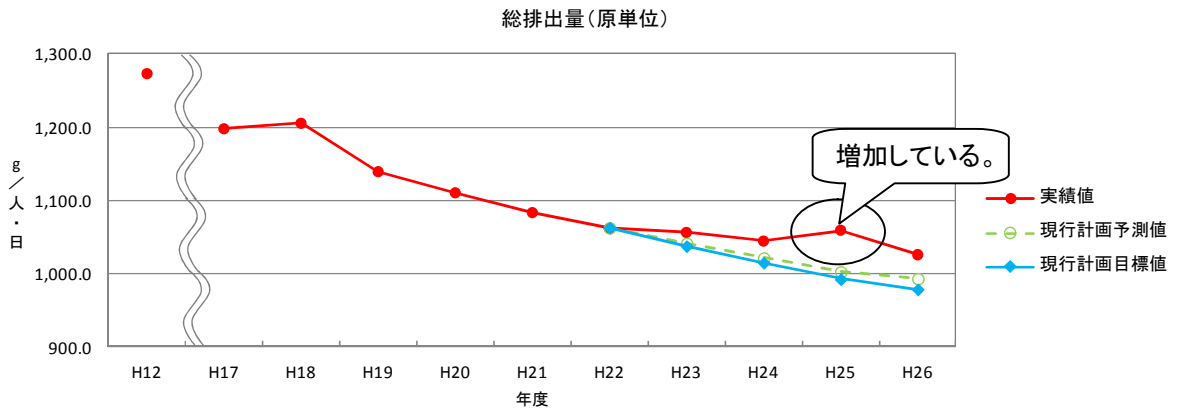


図1 総排出量 (前回審議会資料)

【増加要因ではない燃やさないごみなどは、除外しています。】

※燃やすごみの年度別排出量

平成25年度の燃やすごみは、平成24年度と比べて、約500t増加しています。

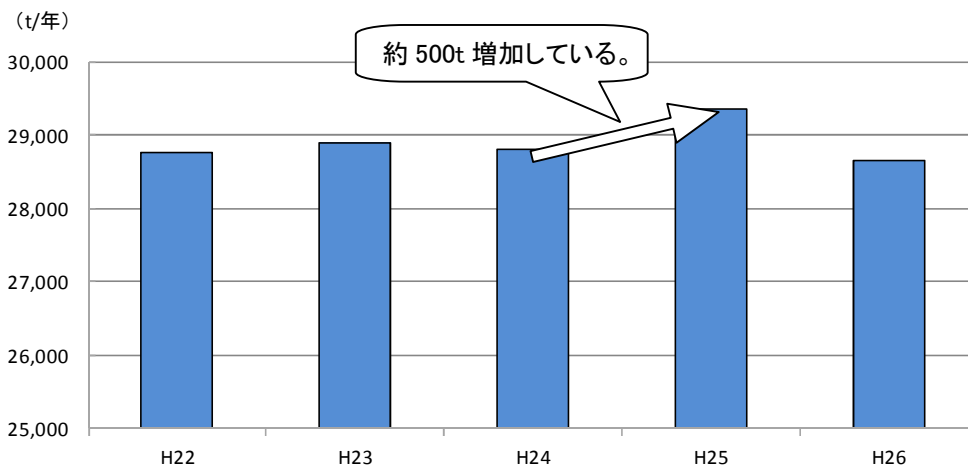


図2 燃やすごみ 年度別排出量

※燃やすごみの収集形態別収集量

図3 燃やすごみの収集形態

項目	収集形態
生活系燃やすごみ	①直営, ②委託業者, ③パイプライン, ④自己搬入
事業系燃やすごみ	④自己搬入, ⑤許可業者

① 直営

直営による収集は、過去5年間（平成22～26年度）、ほぼ同様の傾向で推移しており、平成25年度の増加の要因になっていません。

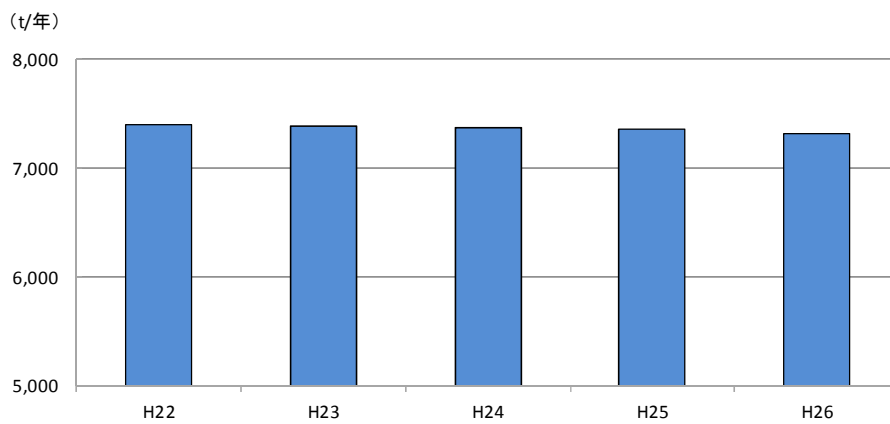


図4 直営 年度別推移

② 委託業者

委託業者による収集は、過去5年間、ほぼ同様の傾向で推移しており、平成25年度の増加の要因になっていません。

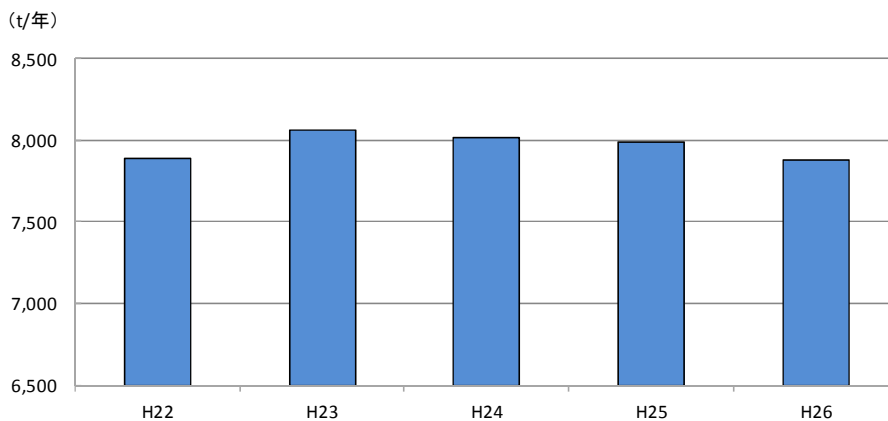


図5 委託業者 年度別推移

③ パイプライン

平成25年度のパイプラインによる収集は、平成24年度と比べ、約250t増加しており、総排出量増加の要因の一つになります。

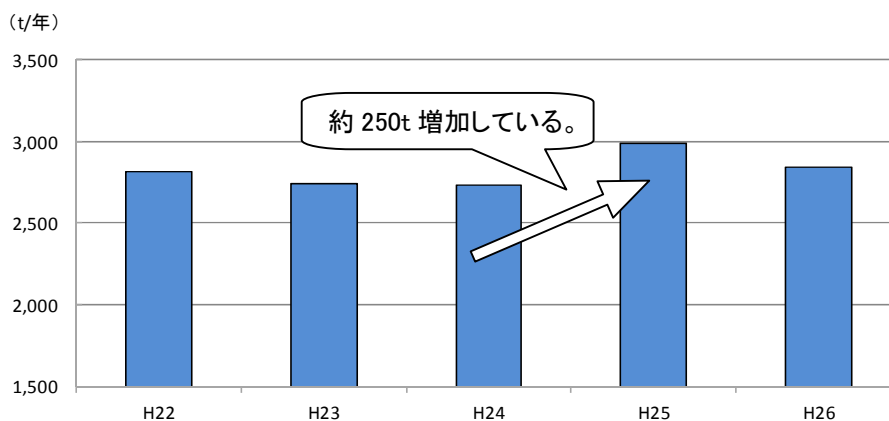


図6 パイプライン 年度別推移

④ 自己搬入

平成25年度の芦屋市環境処理センターへ持ち込む自己搬入は、平成24年度と比べ、約160t増加しており、総排出量増加の要因の一つになります。

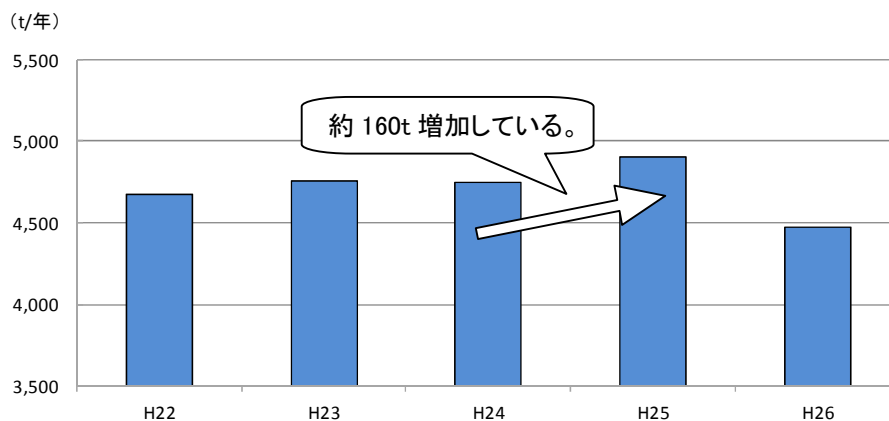


図7 自己搬入 年度別推移

⑤ 許可業者

平成25年度の許可業者による収集は、平成24年度に比べ、約170t増加しており、総排出量増加の要因の一つになります。

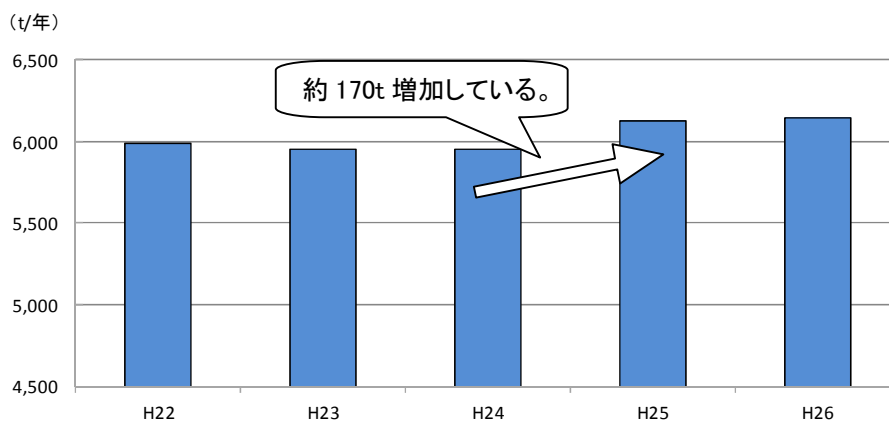


図8 許可業者 年度別推移

※検証結果

平成25年度の総排出量が増加した要因は、収集形態別では、パイプライン、自己搬入、許可業者であることが分かりましたが、具体的な原因までは、特定が出来ませんでした。

- ・パイプライン収集は、平成26年度が平成25年度に比べ減量しているため、今後、経過を観察し、検証していく必要があると考えます。
- ・自己搬入は、平成26年10月から持ち込みごみの予約制を導入したことによる効果があったものと考えます。
- ・許可業者による収集は、全量が事業系ごみであり、経済状況が良くなる程、増加する傾向になります。
今後も、事業者にごみの減量及び再資源化の推進について、啓発してまいります。

以上